

第11回薬学生の集い年会

Road to Medicine～あなたにとって医療とは～

第11回薬学生の集い「年会」が12月12～13日に東京の代々木にある国立オリンピック青少年総合センターで行われました。

「薬学生の集い」とは、「世界に貢献できるPharmacistsの育成」のスローガンのもと、活動する日本唯一の全国的薬学生組織です。地域に根差した活動から国際的な活動をする中で、同じ大学・他大学の学生との情報交換や交流の場を提供しています。

「年会」とは薬学生の集いの定例シンポジウムで、ついに11回目を迎えた今年は「Road to Medicine～あなたにとって医療とは～」というテーマのもとに、大学1年生から大学院生、社会人の方々など、2日間合計で100人が参加しました。

2日間を通して、将来自分たちが進むであろう医療への道を、また自分にとって医療とは何なのだろうかということ、1人ひとりが考えさせられました。

では、濃密ともいえる2日間をご紹介していきたいと思ひます。

チームワークの大切さ！

今回の年会はグループワーク企画が多いのが特徴の1つでした。1日目はアイスブレイキングから始まり、2日間を共にするグループの自己紹介や協力してゲームを行うことで結束を深めました。今まさに重要視されている「チームワーク」の重要性を、学生のうちから学び、ともに協力し合うことはとても大事なことだと実感しました。

午後は参加型企画。病院薬剤師・調剤・開発職・創薬研究・ドラッグストア・化粧品・

MRと、7職種の方々による講義や座談会が行われました。また、薬学生の集いが正加盟するIPSF(国際薬学生連盟)の公式プロジェクトでもある「Patient Counseling Event(PCE)」も行われ、様々な職業の人の話を聞けました。

企画全体で50分×4という時間枠が設けられ、各職業の話を聞いたり、PCEに参加しました。それぞれに興味のある職業を学んだり、PCEに参加することで模擬患者に対し服薬指導をし、どうすれば患者さんが早く薬をのんでくれるのかを話し合ったりと、自分の将来を考えるきっかけとなりました。

ナイトプログラム♪

とても熱い夜となりました。1日目の夜にナイトプログラムが2部構成で行われました。1部では、薬学生の集いOB・OGや大学院生、社会人らによるパネルディスカッション。2部では夜通しでパネリストの方々と参加者が本音をぶつけ合う座談会を行いました。パネリストの方々「学生の時に何を考えていたか」「どんなことを将来に対して思っていたか」など、今悩んでいることを聞くことができ、普段からの悩み、不安を解決していただきました。このように薬学生の集いは、縦のつながりも大事にしています。

アでは加盟校2校、外部7団体から、そのほかに薬学生の集い国際部署の紹介がありました。加盟校のサークル活動、他団体の活動などを知るきっかけとなりました。ワークショップは、「これからの医療と創薬」「これから薬剤師さんに必要なことは？」など、様々なテーマに基づいて開かれ、大学の講義ではあまり聞くことのできない貴重なお話を聞くことができました。

あなたにとって医療とは？

非営利の国際組織DNDi(顧みられない病気のための新薬イニシアチブ)日本代表の平林史子さんに、ご講演をいただきました。国際的に活躍する薬剤師の話を聞き、価値観・考え方が大きく変わりました。普段あまり耳にしないう問題に、皆考えさせられているようでした。

2日目は、医療について実際にアクション

を起こすことを目的とした企画「医療についてYes or No」が行われました。この中でジェネリック医薬品をテーマに、参加者同士で白熱した議論を展開。ジェネリック医薬品導入に積極的で肯定的な立場と、慎重・否定的な立場に分かれました。

医療においても解決が困難な問題があり、それぞれの理由のもと賛成、あるいは反対している人がいます。それを実感し、立場の違いを考慮した上で、自分の意見を考える大切さを学びました。

最後は「Thank you for Enjoying」という企画を行いました。2日間を共にしたグループで、年会で感じたこと、学んだこと、うれしかったこと、楽しかったことをポスターにまとめていきました。来年の参加者はこのポスターを見ることで、年会の雰囲気がつかめるはず。閉会式では、実行委員から幹部の方へお礼の色紙と花束を、逆にOB・OGの方々から、お疲れ様の意味を込めて贈り物の贈呈会がありました。

総括

今回の年会には、実行委員長として参加しました。長く短い2日間でした。私たち実行委員はもちろんのこと、幹部の方々、OB・OGや先生方、協賛企業、関連団体の皆様方に本当にお世話になりました。

多くの人と協力し、1つのイベントを作り上げる。大変ではありましたが、本当に楽しく、やりがいがありました。これからもこの素晴らしい団体が、より皆さんに親しまれるようにしていきたいと思ひます。

第11回薬学生の集い年会実行委員長 東京理科大学2年 大橋正誠

※本日をもって「薬学生の集い」は代替わりし、新しい執行部により運営をしていきます。新年度も様々なイベントを企画していきたいと思ひますので、「薬学生の集い」に興味を持たれた方はぜひHPをご覧ください。

薬学生の集いHP yakutsudo.web.fc2.com/

ACRONET

http://www.acronet.jp/ 人財開発および臨床ITに強いCRO

ACRONETは「医薬品企業のベストパートナー」を目指しています。

医薬品企業の臨床開発における課題(「スピード」「クオリティ」「セーフティ」)解決を提案できる専門家集団を目指しています。また、顧客から「依頼してよかった」と愛され、従業員からACRONETで働いていることを「誇りに思える」ヒューマンカンパニーを展開していきます。

フルサービスが提供できる真の「総合CRO」を目指しています。

臨床試験支援業務のフルサービスを提供、かつ臨床ITを駆使して「専門性」、「コンサルティングスキル」、「グローバル化に対応できる能力」を有し、顧客に対して高品質(＝受託業務の確実な履行だけでなく、新たな付加価値を提案)な成果が提供できるような総合CROを目指しています。

CRO業界の「オンリーワン企業」を目指しています。

当社でしか実現できず、他の追随を許さない「これぞACRONET」といわれる項目を下記3点で設定。各々がトップを目指していきます。【1.多様性のある優秀な人財の輩出率、2.臨床ITコンサルティング力、3.高品質の成果提供と顧客リピート率】

日本CRO協会正会員 伊藤忠商事グループ企業 株式会社ACRONET

〒112-0002 東京都文京区小石川1-3-25 TEL:03-3830-1135 FAX:03-3830-1155 URL:http://www.acronet.jp/

企業概要

- 設立/2003年7月1日
●資本金/1億円
●代表者/中森 省吾
●売上高/28億円(2008年度)
●従業員数/360名(2009年10月1日現在)
●事業内容/モニタリング業務、データマネジメント、統計解析、臨床システム、薬事コンサルティング、教育研修
●事業所/東京本社、大阪、福岡

待遇と勤務

- 初任給/大卒201,000円 修士220,000円 ※2009年度実績
●諸手当/通勤手当・時間外手当・出張手当
●昇給/年1回
●賞与/年3回
●勤務時間/9:00~17:15 ※フレックス制度有
●福利厚生/社会保険完備・退職金制度・福利厚生施設

お問い合わせ先 ●採用・研修室 (recruit@acronet.jp)

